

人口減少社会の現在と将来

年齢 (歳)	出生率	男児出生率	女児出生率
15~	3.6	1.847322298	1.752677702
20~	44.8	22.98889971	21.81110029
25~	139.8	71.73768257	68.06231743
30~	93.2	47.82512171	45.37487829
35~	20.8	10.67341772	10.12658228
40~	2.4	1.231548199	1.168451801
45~	0.0	0.0	0.0

112013 芝 孝一郎

元々の…

プレゼンテーション

①

安定人口理論に基づき

1990年の

出生率と死亡率を用いて

2010年の人口を

シミュレーション

②

現在とどのよう異なる
世の中になっていたか

③

なぜ現在ののような
世の中へ変わったか

テーマ

① 1990年の出生率と死亡率を用いて2010年の人口をシミュレーション

→1/16 の田島さんのプレゼンを参考に！

② 現在とどのように異なる世の中になっていたか

+α 将来の話

→1/16 の田島さんのプレゼンを参考に！

③ なぜ現在のような世の中へ変わったか

安定人口理論とは？

年齢別出生率と年齢別死亡率が長期間
一定と仮定



人口の年齢別構成比が一定の値に収束

1990年の実際の年齢別人口分布

年齢区分の下限 (歳)	人口(千人)(1)	男性人口(千人)	女性人口(千人)
0	6510	3338	3172
5	7486	3835	3651
10	8548	4385	4163
15	10035	5142	4893
20	8828	4488	4340
25	8094	4095	3999
30	7809	3940	3869
35	9027	4541	4486
40	10687	5370	5317
45	9042	4499	4543
50	8110	4012	4098
55	7745	3797	3948
60	6762	3248	3514
65	5115	2202	2913
70	3826	1565	2261
75	3025	1201	1824
80	1837	681	1156
85	835	277	558
90	290	82	208
合計	123611	60698	62913

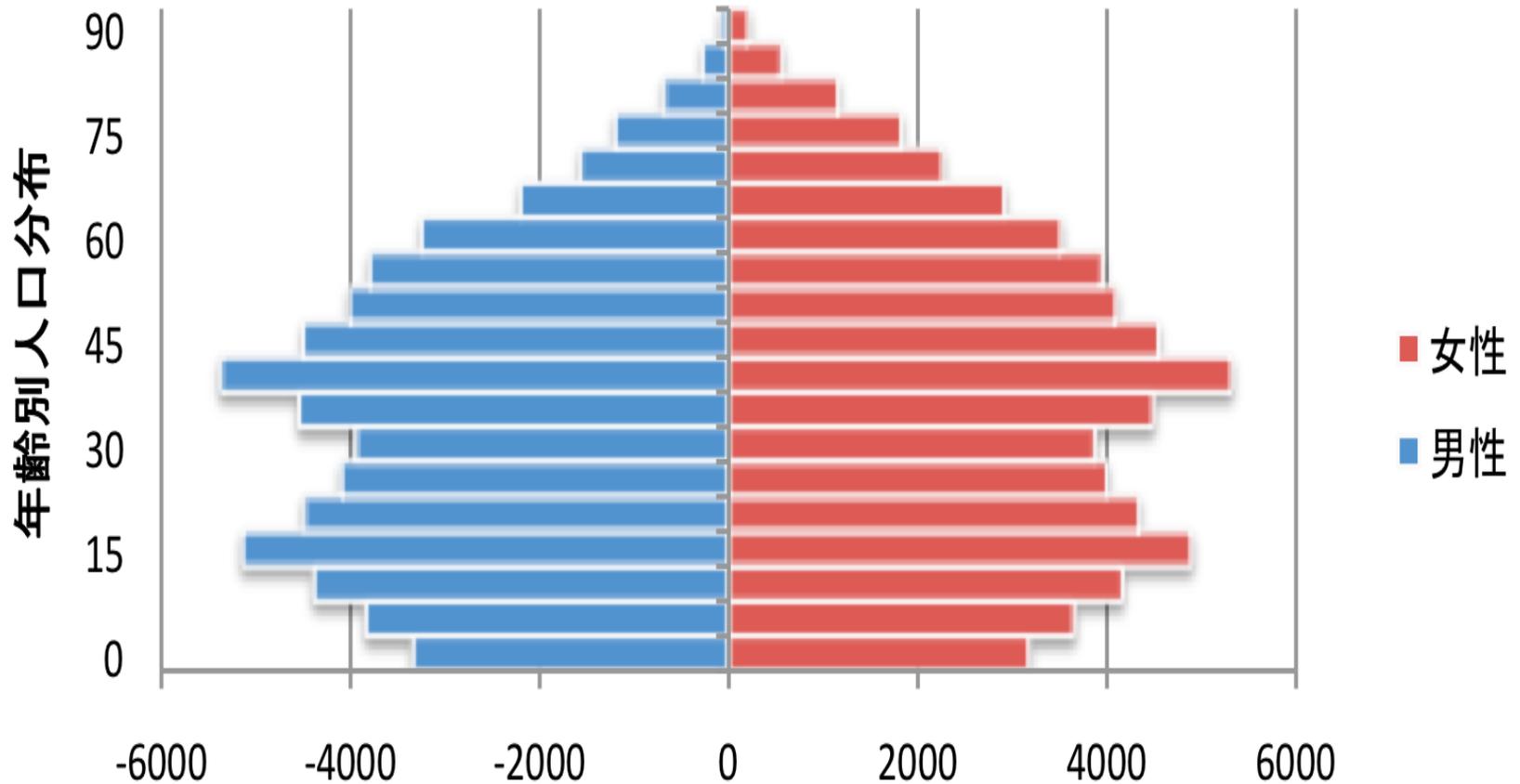
1990年のデータ(出生率)

年齢(歳)	出生率	男児出生率	女児出生率
15~	3.6	1.8	1.8
20~	44.8	23.0	21.8
25~	139.8	71.7	68.1
30~	93.2	47.8	45.4
35~	20.8	10.7	10.1
40~	2.4	1.2	1.2
45~	0.0	0.0	0.0

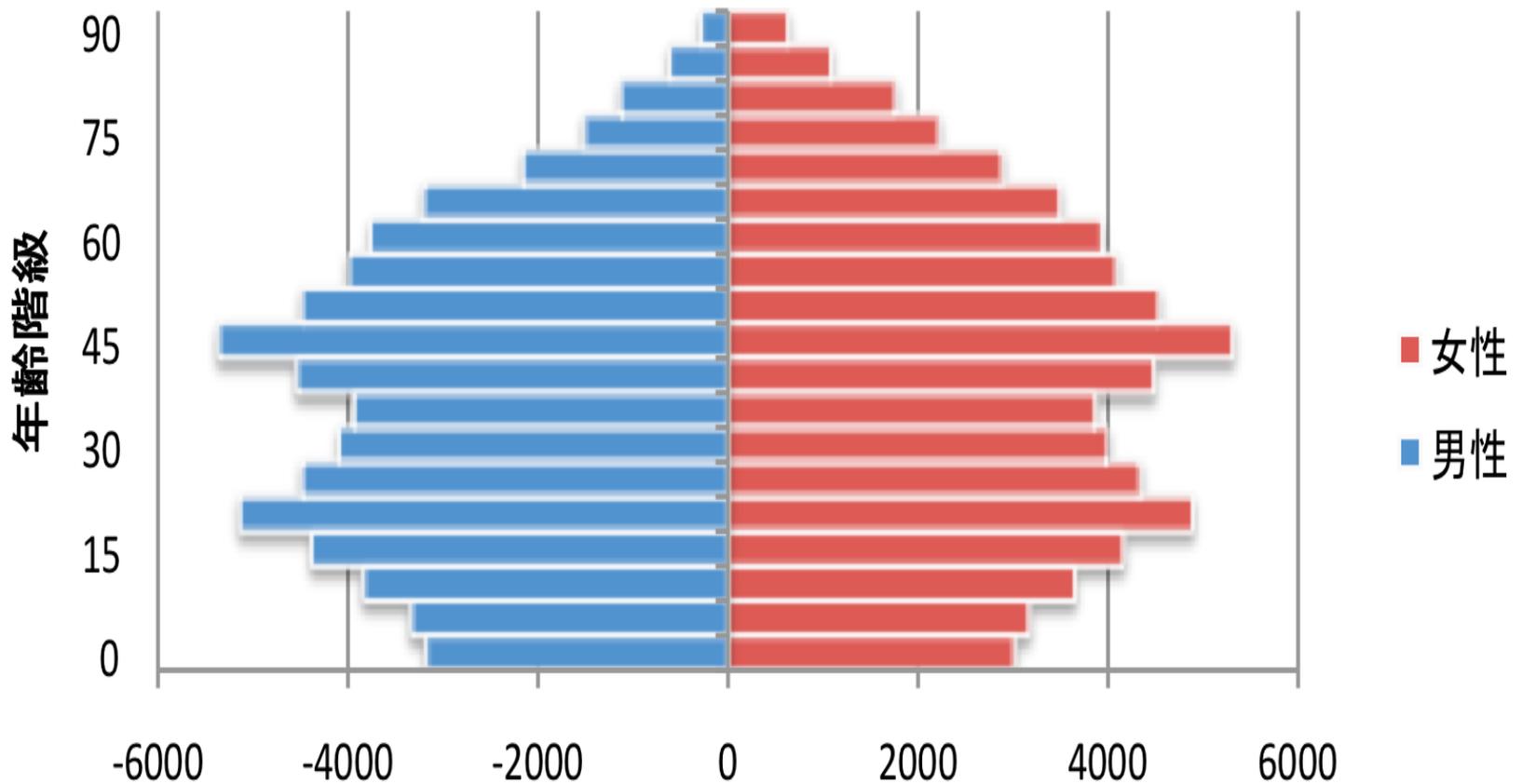
1990年のデータ(死亡率)

年齢(歳)	死亡率(対千人)	
	男	女
0~	1.4	1.1
5~	0.2	0.1
10~	0.2	0.1
15~	0.6	0.2
20~	0.8	0.3
25~	0.7	0.3
30~	0.8	0.5
35~	1.2	0.7
40~	1.8	1.0
45~	3.2	1.7
50~	5.1	2.5
55~	8.7	3.7
60~	13.2	5.7
65~	19.5	9.4
70~	33.3	16.9
75~	58.0	32.0
80~	100.2	62.1
85~	165.5	117.6
90~	252.1	197.5
95~	366.6	308.8
100~	566.8	468.7

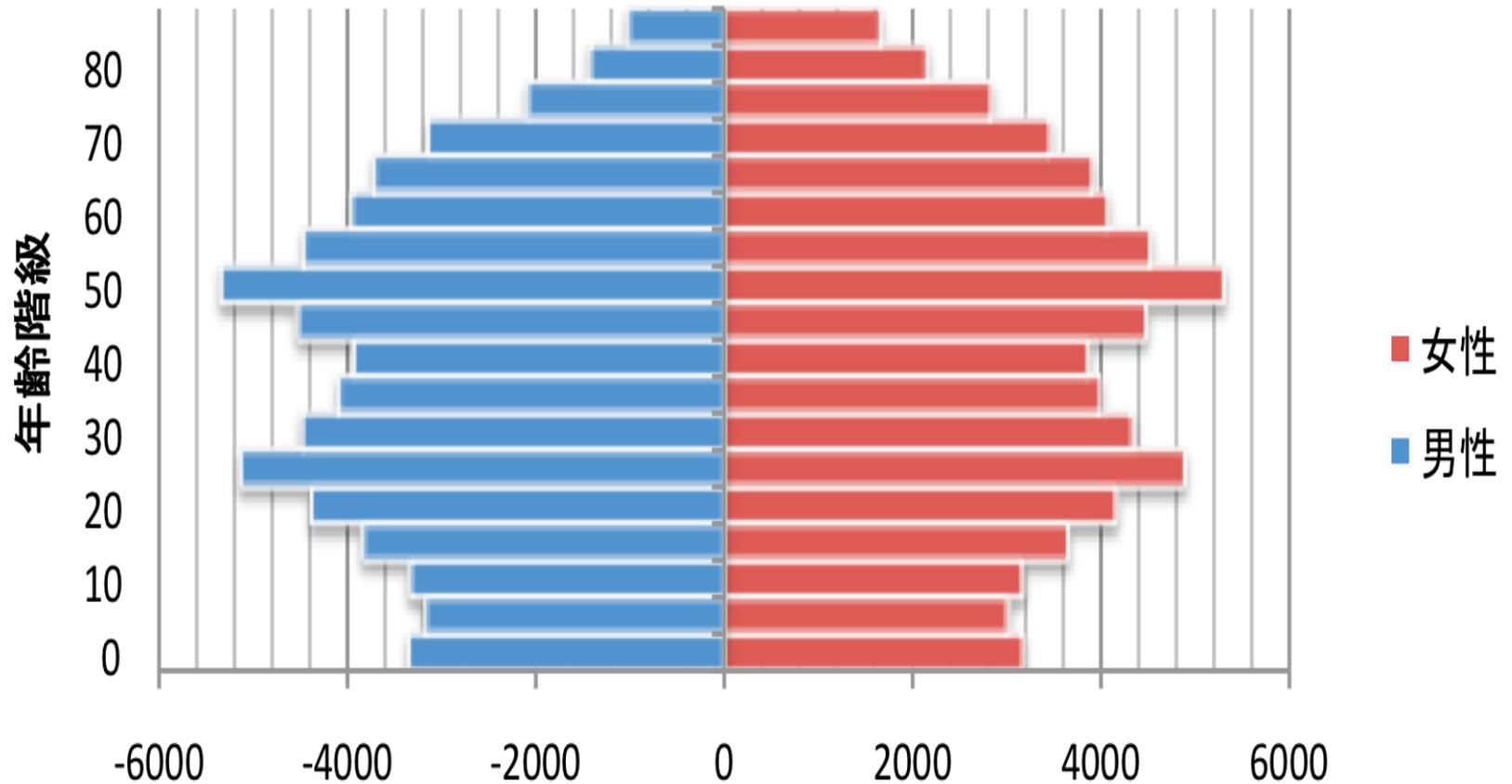
1990年人口ピラミッド(実際)



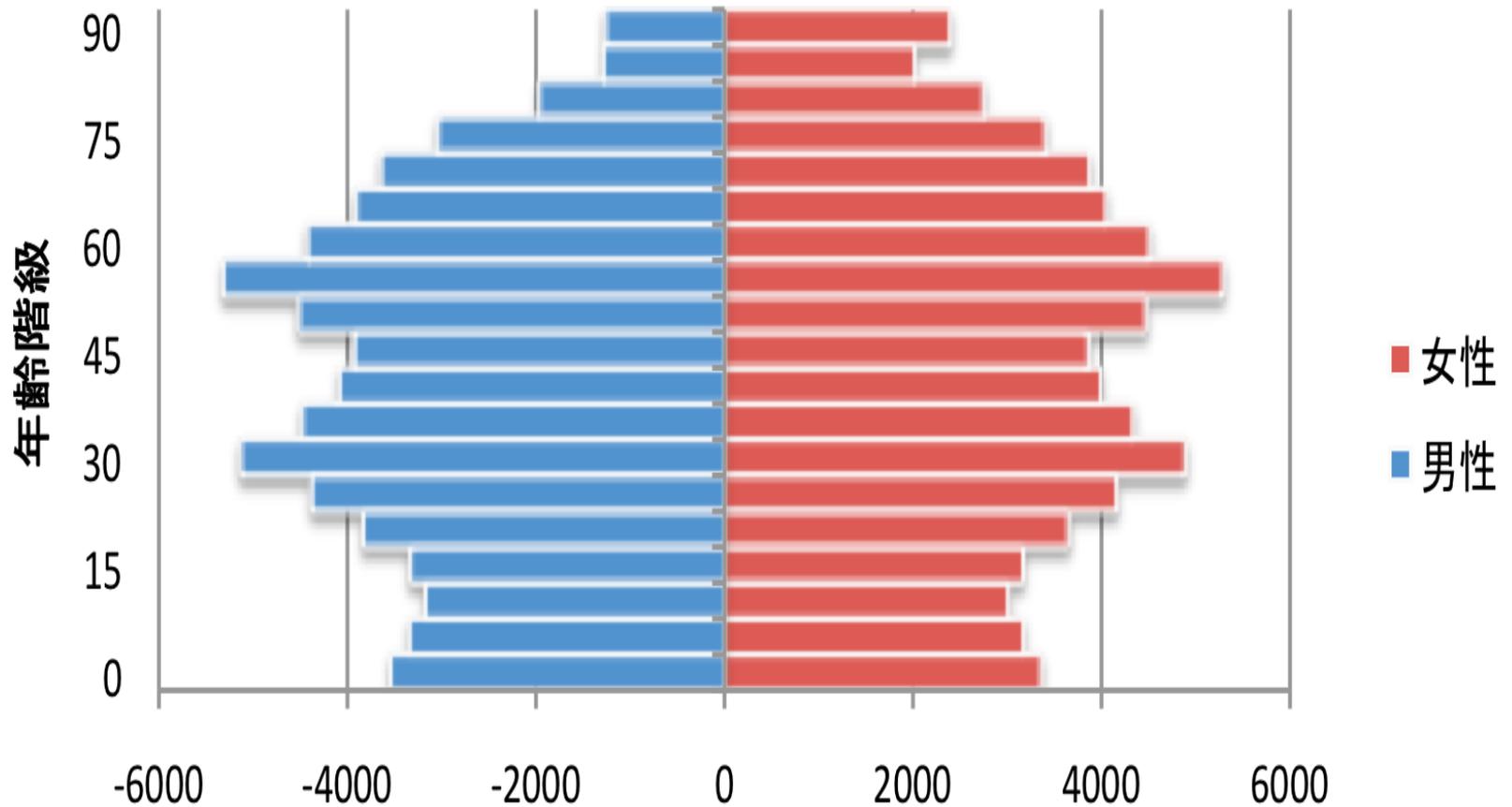
1995年人口ピラミッド(シミュレーション)



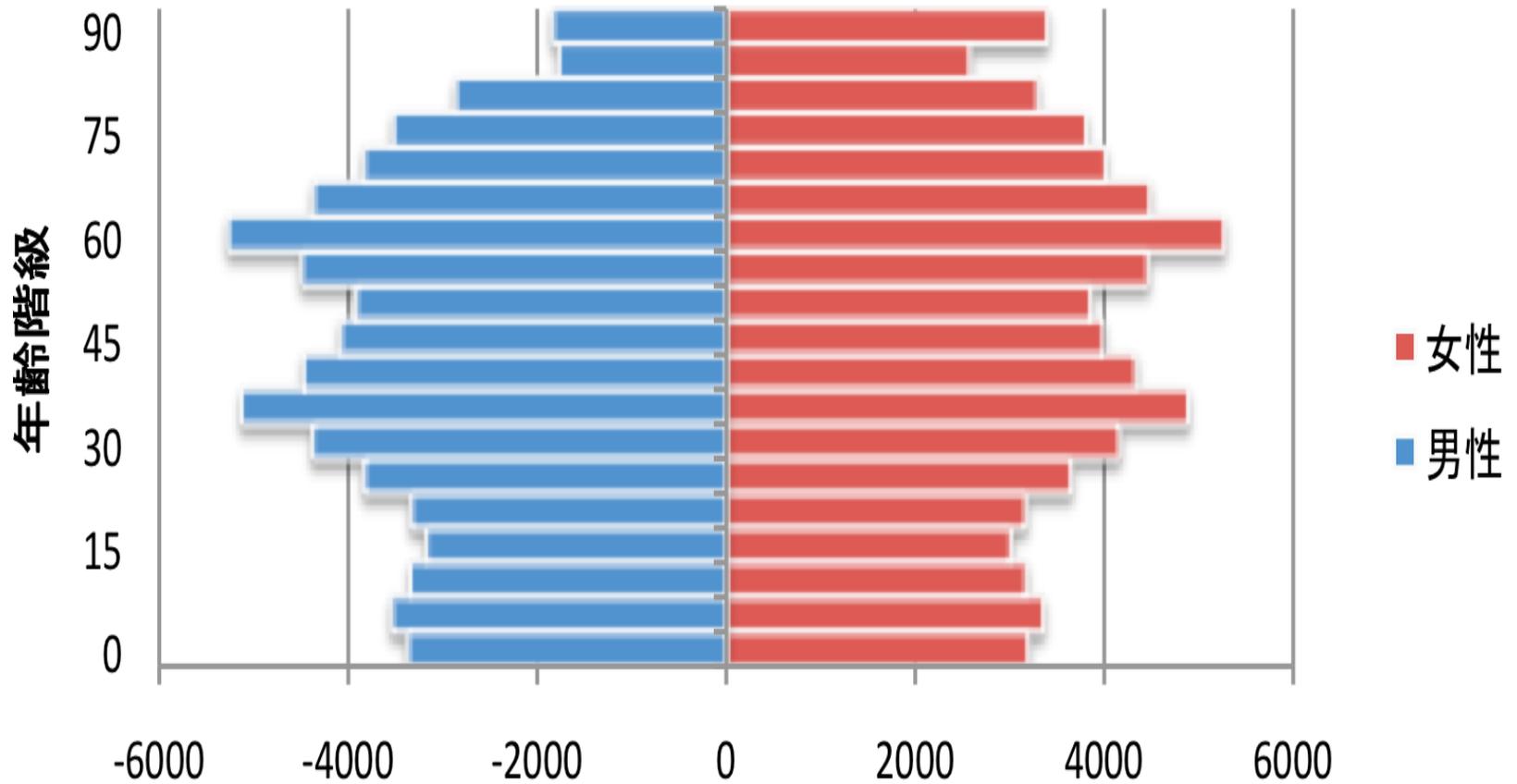
2000年人口ピラミッド(シミュレーション)



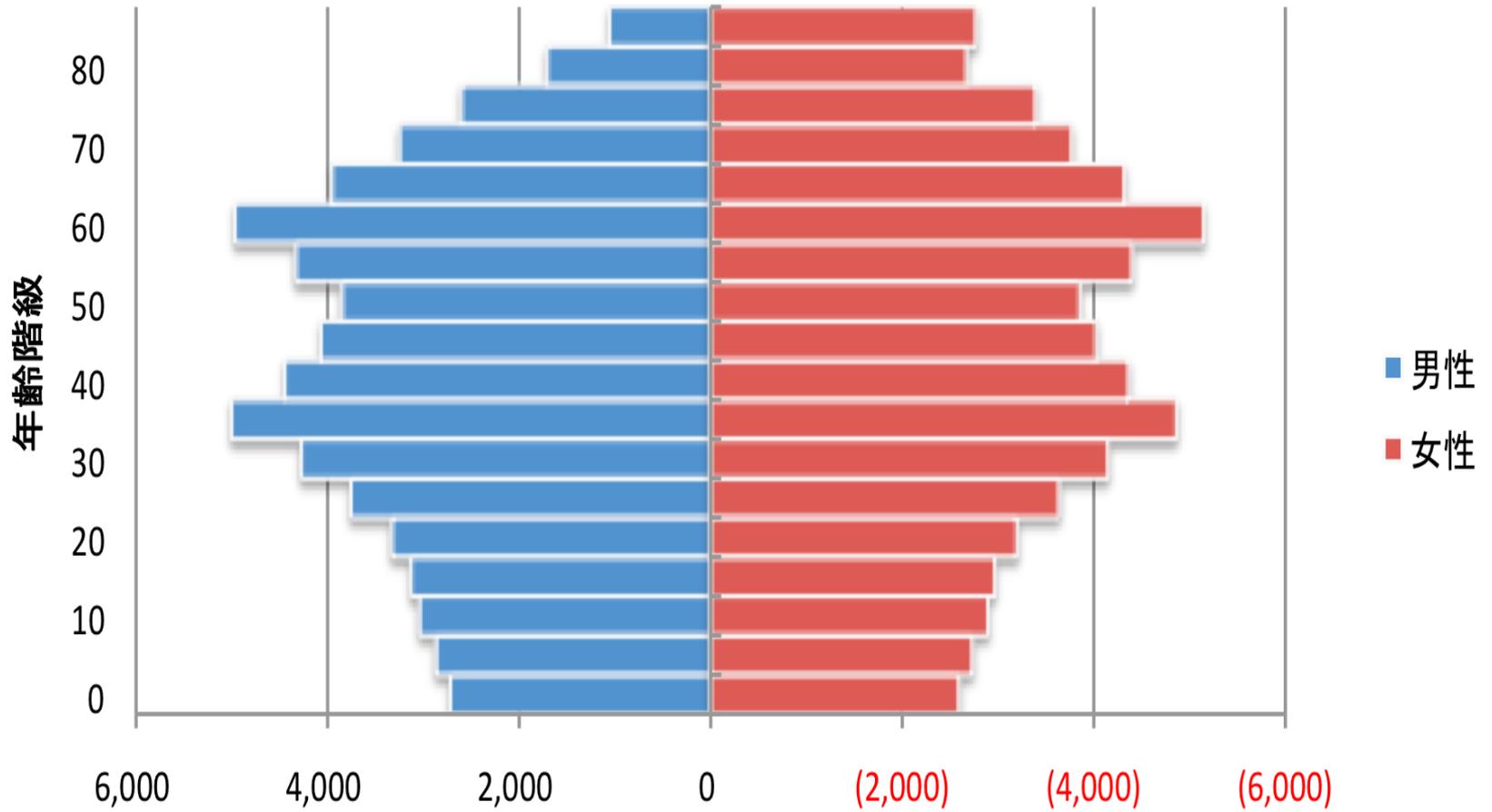
2005年人口ピラミッド(シミュレーション)



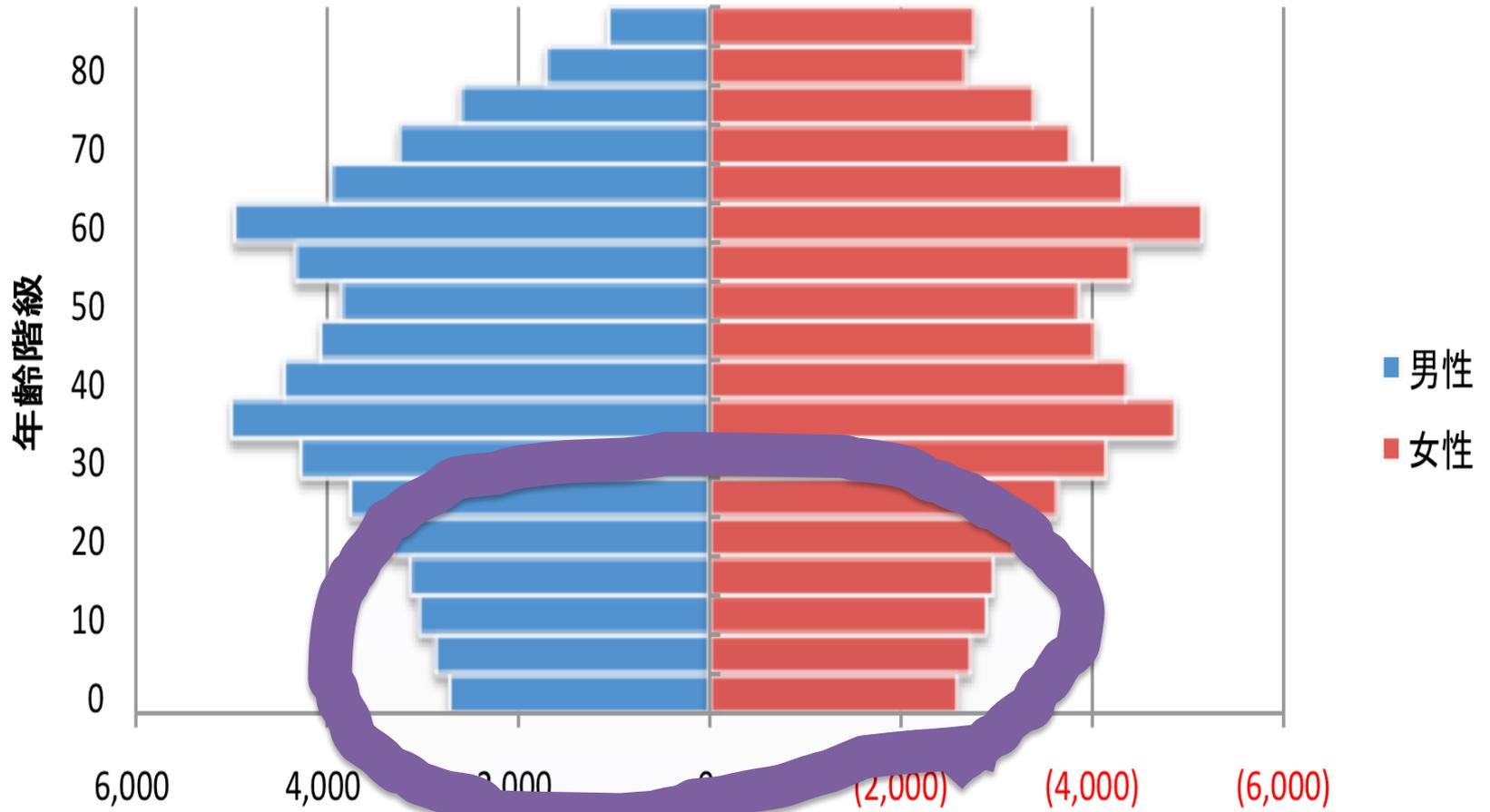
2010年人口ピラミッド(シミュレーション)



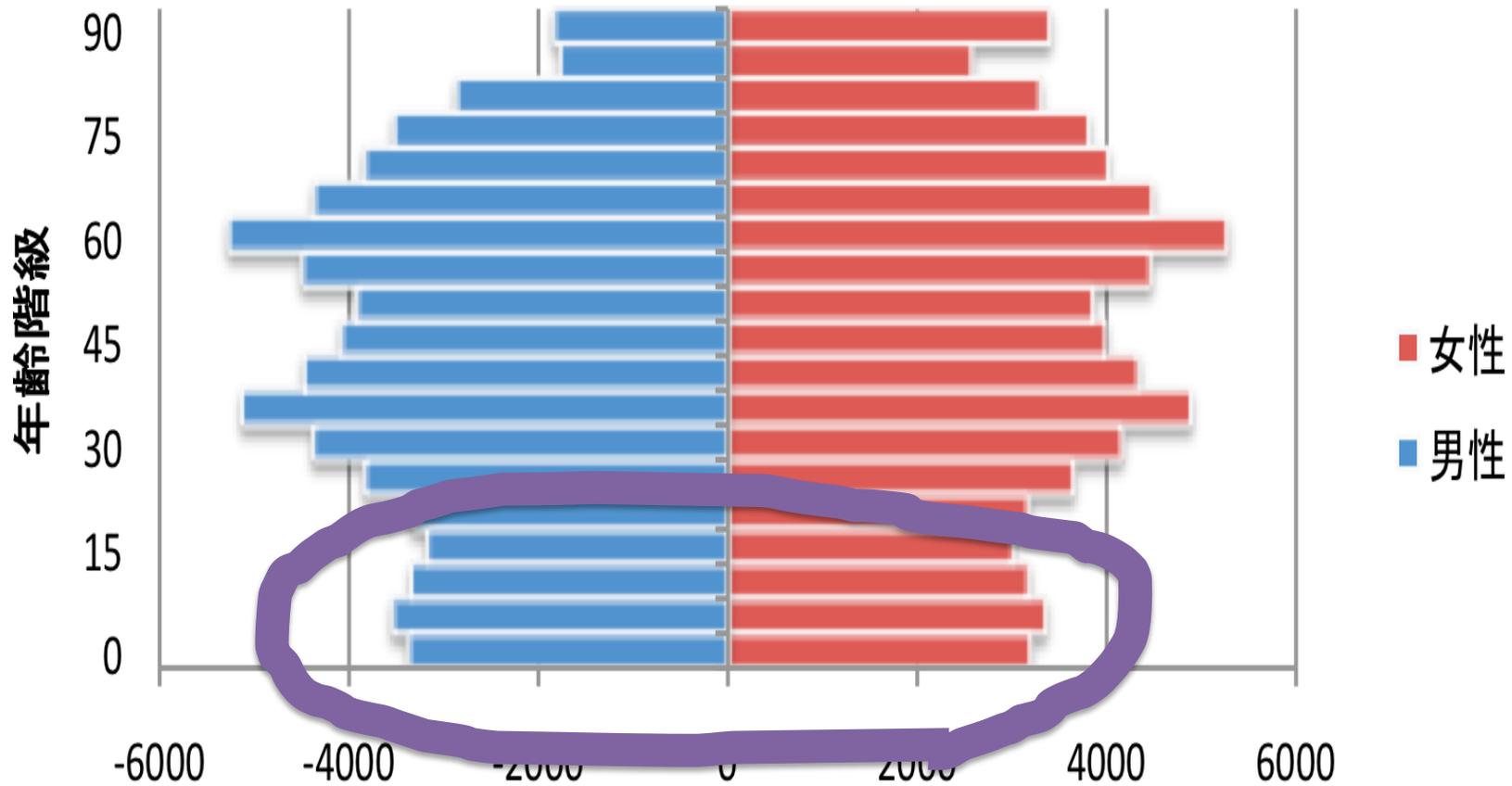
2010年人口ピラミッド(実際)



2010年人口ピラミッド(実際)



2010年人口ピラミッド(シミュレーション)

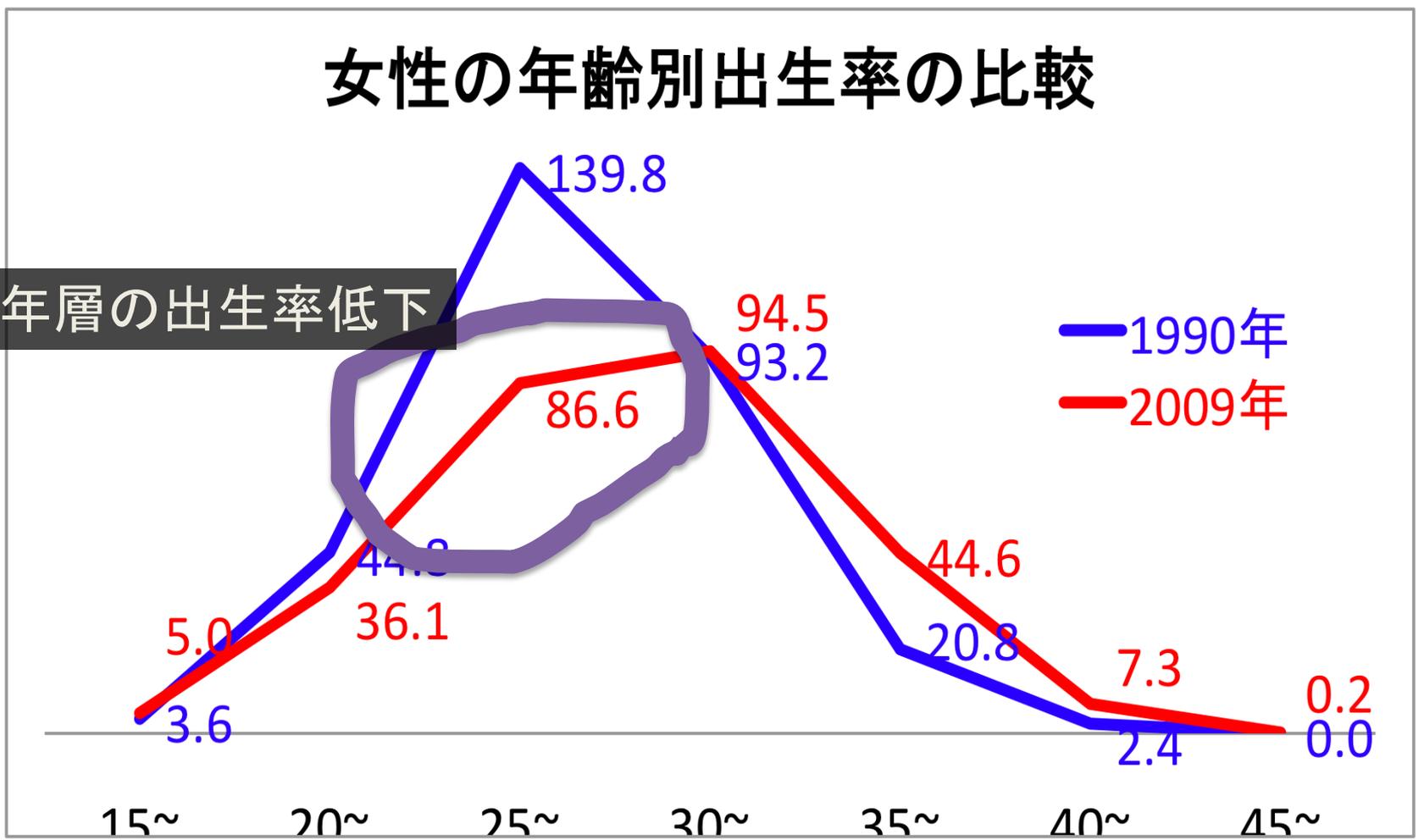


なぜ？

出生率の比較

女性の年齢別出生率の比較

若年層の出生率低下



再び、なぜ？



KeyWord

社会経済的要因

子供を産むことの
メリット<デメリット

- 女性の社会進出

- 機会費用
- 受験戦争

両立の難しさ

- 企業風土とワークライフバランス

将来の閉塞感

- バブル崩壊
- 相対的所得論
- 個人主義

大人は王様

これからの人口の話

人口減少は止まらない

負の人口モメンタムという概念

人口減少社会は
悪いことなのか？

予想される議論

- 人口が減ると経済規模が縮小する
- そうなると所得や雇用機会が減ってしまうから大変！
- いやいや、国全体の経済規模が小さくなくても一人当たりのGDPが変わらなければ幸せの度合いは変わらないよ。
(芝は少しこの主張に疑問を感じますが……)

一人当たりのGDPを維持するには

生産年齢人口の割合が減少することを前提とする

➡解決策は二つ

- ①一人当たりの生産性を高める
(高い教育水準など…)
- ②成長産業に人材を振り分ける

人口オーナスを抑えるには

これも解決策は二つ

- ①少子化自体を抑制する
- ②労働参加率(働いている人の割合)を増やす

どちらも根本的な問題は・・・

**年功序列・終身雇用など
従来型日本の雇用形態**

ということか

少子化の問題

- 年功序列の賃金のせいで、子育てのための離職による機会費用が増大する
- 終身雇用のため古い社員を解雇できない
- ➡ 新卒の若者がその分就職しづらくなる
- ➡ 経済的に安定しないため子供も産めない

労働参加率

- 女性の労働参加率は世界的に見てもかなり低い水準
- 長期雇用を前提としている企業は女性の採用を躊躇する
- 非正規で働くと賃金格差が大きい

必要なのは

現代の社会・経済に
そぐわない
古い体制の改革

14世紀のヨーロッパでのペストの流行

- 多くの若者が死に、深刻な労働不足に。
- 残った人々が努力し工夫をして
ルネサンス→技術革新→産業革命がおこった。

ペストによる人口減少が
血縁関係の中で世襲で労働力を補給していた
伝統的ギルド社会を壊した。

再び

人口減少社会は
悪いことなのか？

僕なりのAnswer

「14世紀ヨーロッパのように、
従来の社会の仕組みに別れを告げ
時代に則した世の中へ“構造改革”
をするための**好機**と思えば前向きに捉えら
れる。」（68字、句読点含む）

Thank you